



報道機関各位

平成29年 1月23日
室蘭開発建設部 広報官

表彰団体決定！「わが村は美しくー北海道」運動

～第8回コンクールの優秀賞14団体、奨励賞26団体が決定～

北海道開発局は、「わが村は美しくー北海道」運動（以下「わが村運動」）第8回コンクールを開催し、全道86団体（70市町村）の応募の中から、選考の結果、農山漁村における地域の活性化や個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、優秀賞14団体、奨励賞26団体を表彰することに決定しました。

このコンクールは、自然的・社会的・歴史的に特徴のある景観を形成してきた北海道の農山漁村がより「美しく」あるため、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見だし、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指し、平成13年から2年に一度、開催しています。（別添）

なお、来年度は、今回、表彰された全道の優秀賞の中から大賞を決定します。

室蘭開発建設部管内からは、当コンクールに7件の応募があり、優秀賞1団体及び奨励賞2団体の合計3団体の表彰が決定しました。（別紙1、2）

表彰授与式は、当部管内で実施しますので、日時及び場所が決まり次第、別途、お知らせします。

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

わが村運動は、地域住民が主体となり、北海道の農山漁村・農林水産業を通じて地域づくりを行う活動に対して、様々な人たちが「参加しよう」、「広げよう」、「いいもの伝えよう」をキャッチフレーズにこうした活動にかかわっていきこうとするもので、平成13年から行っています。

「わが村は美しくー北海道」運動の各種情報は、以下のホームページに掲載しています。

http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_nogyo/wagamura/index.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部
土地改良情報対策官 金谷 雅宏 電話 0143-25-7049（ダイヤルイン）



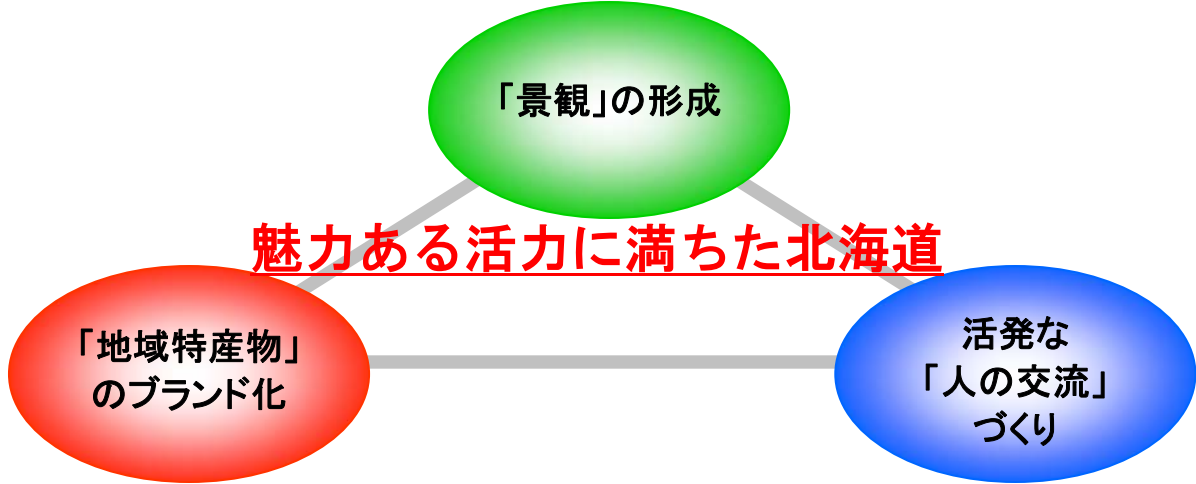
「わが村は美しくー北海道」運動とは

別添

Point

- 北海道の農林水産業をより豊かにすることをめざし、平成13年にスタート
- 道内各地で地域資源を活用して地域を活性化しようとする住民主体の活動に対する支援

【景観】 地域の特色を活かし、生活と生産に根ざした景観形成活動



【地域特産物】

地域で生産される農林水産物及びそれらを主として利用した加工品の生産販売活動

【人の交流】

地域の魅力を高めるコミュニティづくりに結びつく都市及び地域内外の人たちとの交流活動

団体の活動事例

軽トラマルシェで地域振興(絵本の里けんぶち VIVAマルシェ)【釧路町】



地域ブランド確立や体験観光など持続可能な漁村の構築活動(落石地区マリンビジョン協議会)【根室市】



多くの方の協力と連携により運動を推進

支援・応援

北海道田園委員会

学識者、民間企業、報道機関
地方自治体、生産者団体、実践者

- 運動の推進のため、国土交通省北海道局に設置
- 道内外の有識者で構成
- 運動の円滑な推進に対する提言

- **参加しようー中心となるのは、地域に住む人々** 「地域の資源」を見つけよう
- **広げようー活動の輪を大きく、自由に** 地域の個性を競い合い高め合い
- **伝えようー北海道の「いいもの」を、もっと外へ** 地域住民の努力と行動に光をあて、広く伝えよう

取組

- コンクールの開催 ← 「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えます
- 地域の魅力を高めようとする地域住民の活動をさらに広く伝えて、その活動を支援し波及させます

第8回「わが村」運動 コンクール

活動団体

↓
・応募(全道から86団体)

(1年目)
現地調査、優秀賞・奨励賞の選考

H28年度

↓
・ブロック毎に応募団体の現地調査、及び審査を実施し表彰団体を選考
・優秀賞14団体、奨励賞26団体決定

表彰式

(2年目)
大賞の選考

H29年度

↓
・各ブロックの優秀賞受賞14団体の中から大賞表彰団体を選考

大賞表彰式

多くの人に伝えるための取組

- HPへ掲載 http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_nogyo/wagamura/index.html
→活動団体の最新情報を広く発信
- メールマガジンの配信
→活動団体への情報提供
→活動団体の最新情報を発信
- JR北海道の車内誌
→「THE JR Hokkaido」への掲載 (JR北海道の協力)
- 地域イベントで活動PR
→地域イベントに参加し 団体活動を紹介
- 札幌「チカホ」でPR
→デジタルサイネージで放映 (札幌市の協力)
- facebook(フェイスブック)の取組 <https://www.facebook.com/wagamura>
→活動団体の最新情報を広く発信 (NPO わが村は美しくー北海道ネットワークとの共同運営)



JR車内誌



「チカホ」いいとこ撮り北海道



平成29年1月23日
北海道開発局

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクールの表彰団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、平成13年から2年に一度コンクールを開催しており、今年で8回目となります。

今回のコンクールには、全道から86件（団体）の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞14団体、奨励賞26団体を表彰することとしました。

表彰式は、本日以降、随時、表彰団体の応募先である各開発建設部ごとに行う予定ですので、該当する開発建設部土地改良情報対策官にお問合せください。

1. 第8回コンクールの応募状況等について

(1) 応募件数

全道70市町村から86件（団体）の応募

(2) 審査経過

平成28年 3月～ 6月 募集

平成28年 7月～11月 全道10ブロック*での現地調査
(ブロック審査委員会による全応募団体の現地調査)

平成28年11月～12月 ブロック審査委員会での審査
(現地調査の結果から、表彰団体の選考)

※各建設部の所管を1ブロックとしている。

2. 表彰団体について

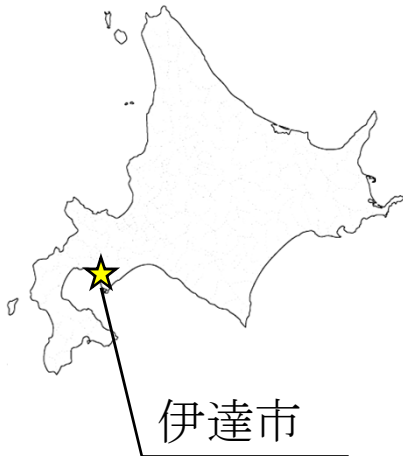
(1) 優秀賞（北海道開発局長表彰）[14団体]

- ▶ 北海道幌加内高等学校（幌加内町）
- ▶ WEAVE（ウィーブ）（由仁町）
- ▶ えさし水土里の会（江差町）
- ▶ 寿都地域マリビジョン協議会（寿都町）
- ▶ 北海道旭川農業高等学校 食品科学科 米粉班（旭川市）
- ▶ ふらの樹海 やさい工房「しずく」運営委員会（富良野市）
- ▶ 観光物産館農産物販売協議会（伊達市）
- ▶ NPO法人 厚岸ネット（厚岸町）
- ▶ 有限会社 渡辺体験牧場（弟子屈町）
- ▶ 十勝パンを創る会（帯広市）
- ▶ (株)アグリファッショングループ（帯広市）
- ▶ 株式会社 知床ごんた村（斜里町）
- ▶ 留萌市食農教育推進協議会（留萌市）
- ▶ うたのぼり・癒やしの森「音夢路」利用促進研究会（枝幸町）

(2) 奨励賞（各開発建設部長表彰） [26 団体]

- ◇札幌ブロック [3 団体]
 - ・河川愛護団体 リバーネット21ながめま（長沼町）
 - ・「いきいき母さん土曜日」運営委員会（岩見沢市・美唄市）
 - ・ルーキーズカンパニー（恵庭市・北広島市・千歳市）
- ◇函館ブロック [2 団体]
 - ・アグリネットななえ（七飯町）
 - ・赤とんぼの町プロジェクト（北斗市）
- ◇小樽ブロック [2 団体]
 - ・ニセコ町農業青年会（ニセコ町）
 - ・北海道余市紅志高等学校農業クラブ（余市町）
- ◇旭川ブロック [5 団体]
 - ・株式会社 村にあるものをねっぷえいど（音威子府村）
 - ・北のきらきらキッズプロジェクト（和寒町）
 - ・北海道士別翔雲高等学校（士別市）
 - ・北海道下川商業高等学校（下川町）
 - ・比布商工会青年部（比布町）
- ◇室蘭ブロック [2 団体]
 - ・JAとまこまい広域 厚真町ハスカップ部会（厚真町）
 - ・びらとり農業協同組合青年部（平取町）
- ◇釧路ブロック [該当無し]
- ◇帯広ブロック [4 団体]
 - ・北海道帯広農業高等学校（農産加工分会ビネガー一班）（帯広市）
 - ・十勝品質事業協同組合（帯広市）
 - ・北海道士幌高等学校（環境専攻班）（士幌町）
 - ・農と暮らしの委員会（士幌町）
- ◇網走ブロック [2 団体]
 - ・るべしべ白花豆くらぶ（北見市）
 - ・上ところホテル友の会（北見市）
- ◇留萌ブロック [3 団体]
 - ・NPO法人えんべつ地域おこし協力隊（遠別町）
 - ・民安ダム「サクラの森づくり」の会（天塩町）
 - ・天塩町4Hクラブ（天塩町）
- ◇稚内ブロック [3 団体]
 - ・とよかんべつ交流大学（浜頓別町）
 - ・豊富温泉コンシェルジュ・デスク（豊富町）
 - ・ワラベンチャー問寒クラブ（幌延町）

(受賞団体名は順不同です)



伊達市



賑わいを見せる農産物販売の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体
観光物産館農産物販売協議会
【伊達市】

地域特性を活かした農業活性化活動

はじめは？

伊達市観光物産館がリニューアル（平成24年4月）される前までは、敷地内に小さな道の駅がありましたが、人目につきにくいなどの課題がありました。また、販売を拡大したい新規就農者らが中心となり、平成21年から朝採りの野菜等を軽トラックの荷台で「だて軽トラ日曜朝市」を開催していました。

観光物産館の建設を契機に平成23年10月「だて軽トラ日曜朝市」を発展的に解消し、直売所に出荷する農家で観光物産館農産物販売協議会を設置しました。

おもな活動

本協議会は、伊達市の農業活性化に寄与することを目的に観光物産館内の農産物直売コーナーで農産物の販売を行っています。販売する農産物は、新鮮な冬野菜や他で見られない新しい野菜を栽培する農家が増えるなかでキャベツ、トマト、ブロッコリー、大根、カブ、キュウリ、ルッコラなど約150種類の野菜を始め、低タンパクにこだわった米、道内有数の早出しジャガイモ、果物、花まで多彩な農産物を揃えています。

また、毎年秋に農産物生産者と消費者との交流の場として軽トラ朝市を開催し、農業者と消費者との交流の場としてもサポートを行っています。



軽トラ朝市の様子

ここが自慢

【地元へのこだわり】

協議会では、冬も人気の直売所にしようと伊達の温暖な気候を生かし、冬野菜の拡大に力を入れ、冬期間のハウス有効利用の観点から会員の半数ほどが冬野菜を栽培しており、農閑期の収入源となっています。また、伊達市農業協同組合が、伊達市の支援のもとに、平成25年度から野菜産地としてのブランド力強化に向け、冬野菜の生産支援に取り組んでいることと相まって、同市からの冬野菜の出荷先は札幌圏や旭川市など都市部を中心に増えており、伊達野菜の知名度アップに繋がっています。冬野菜が伊達市の地域振興に寄与しています。



農産物販売スペースの様子

連絡先

代表者名：阿部 宏昭さん／設立：2011年／会員：84名

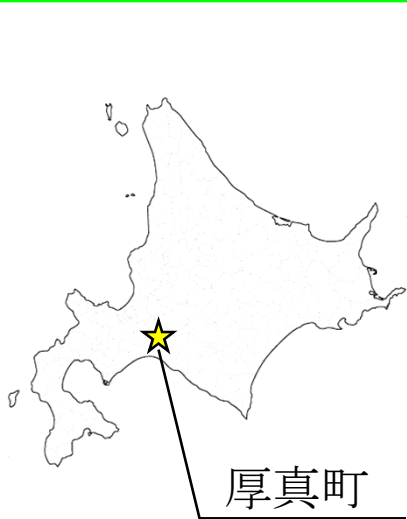
住所：伊達市松ヶ枝町34-1

電話番号：0142-25-5567（問合せ 山崎 博司さん）

F A X：0142-25-5587

E-mail：-

U R L：-



厚真産ハスカップの栽培風景

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

JAとまこまい広域 厚真町ハスカップ部会

【厚真町】

地域限定資源による農業活性化活動

はじめは？

厚真町特産のハスカップの栽培農家戸数は、栽培が始った1980年代の約100戸から一時56戸まで落ち込みましたが、甘みが強い独自品質開発及び栽培等により、ハスカップ農家数が増え、現在、作付日本一となり、ハスカップ果実のほかにハスカップを使用したジャム、ゼリー、菓子等の加工商品として提供しています。また、現在はハスカップドリンク等の商品開発やハスカップを使用した料理教室の開催、地元中学校によるハスカップパフェの開発など地元の取組も広がっています。

おもな活動

多くの方々に厚真産ハスカップを知ってもらいたいという思いから、消費拡大と併せ地域振興のため、地域ブランド確立に向けた商品販売や各種PR活動を展開しています。



厚真産ハスカップと加工商品

ここが自慢

【地域限定ハスカップ品種】

現在、厚真町のハスカップは、栽培面積日本一の生産地となっています。日本でのハスカップのうち「あつまみらい」と「ゆうしげ」の二品種は、厚真町でのみ栽培できる地域限定品種です。

本団体は厚真町ハスカップの販売振興及び産地PRなどのため、対面販売・各種イベント・物産展への出展と共に冷凍ハスカップの賞味期限標記調査や輸送における衝撃吸収資材使用による長距離輸送試験を実施するなど、遠方への販路拡大及び生産量拡大に向けた取組も併せて行っています。



厚真町の地域限定品種

連絡先

代表者名：長谷 誠良さん／設立：1980年／会員：99名

住所：勇払郡厚真町錦町10番地2

電話番号：0145-27-2241（問合せ 川原 拓也）

F A X：0145-27-3957

E-mail：-

U R L：-



平取町



北広島市（くるるの杜）でのPR活動の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体
びらとり農業協同組合青年部
【平取町】

地域農業発展に向けた生産者実践活動

はじめは？

平取町では、農業を基幹産業として、トマト、キュウリ、寒締めほうれん草などの施設野菜を中心に水稻や酪農、肉用飼養を取り入れた複合経営が営まれています。

なかでも、トマトは北海道一の出荷量を誇り、ブランド化を推進し、「びらとりトマト」として地域団体商標登録されるなど、平取町を代表する農産物です。

本団体は、地域農畜産物の生産者組織であり、平取町の農産物を広く消費者の方々に知っていただくため、PR活動、消費拡大活動を展開しています。

おもな活動

日高・胆振地区JA青年部と連携したPRイベントとして、道の駅（ウトナイ湖）で「びらとりトマト」をはじめ、様々な特産品の試食販売を実施しているほか、北広島市内の農協直販所でのJAびらとり青年部特産品フェアで対面販売を行うなど、積極的に消費者の方々と交流を図っています。こうした生産者が消費者と触れあえる場は、活動や生産意欲の向上にも繋がっています。

また、平取町教育委員会と協力し、農業の素晴らしさや食べ物の大切さを学んでもらうための食育活動にも取り組んでいます。



日胆地区JA青年部PRイベントの様子

ここが自慢

【農業体験を通じた食育活動】

町内の児童に農業のすばらしさ、食べ物の大切さを学んでもらうため、自然体験学習事業【キッズチャレンジTHEあぐり】実行委員会が設立され、後援として青年部も参加しており、田植え体験や搾乳体験等農業体験の外、レシピの紹介、調理、試食まで一体として体験してもらうことにより、将来を担う子供達に農業の素晴らしさや食べ物の大切さを学んでもらう場を提供しています。



キッズチャレンジTHEあぐり（田植え体験）の様子

連絡先

代表者名：野口 和真さん／設立：1975年／会員：49名

住所：沙流郡平取町本町40番地1

電話番号：01457-2-2020（問合せ 山内 峻太郎）

F A X：01457-2-3792

E-mail：-

URL：<http://ja-biratorityou.blog.so-net.ne.jp/>